病室退出後の付着菌検査結果

株式会社ティ・アシスト

【検査概要】

某大阪区内の病院において環境表面殺菌システムで使用するハロフォガーとハロミストを使用して作業前後の菌の増減を検証。

検査施設　　：病室（個室）
検査日　　：令和元年　9 月 6 日
検査内容　　：環境表面殺菌システム施工前の付着菌検査を下記の 10 箇所で実施。
その後、環境表面殺菌システムを施工し、同じ場所の 10 箇所にて再度付着菌検査を実施しました。

一般細菌　付着菌検査実施箇所

	検査場所	No
病室（個室）	ベッド柵	1
	照明	2
	棚扉部分	3
	椅子座面	4
	リモコン	5
	ロールカーテン紐	6
	トイレ扉取手	7
	便座	8
	トイレ水洗レバー	9
	洗面レバー	10

使用薬剤　　：ハロミスト（過酸化水素 5%、硝酸銀 0.01%、その他の成分 94.99%）

薬剤噴霧時間　　：ハロフォガーの機械で薬剤を 10 分間噴霧、その後 90 分間放置後に施工後検査を実施

使用培地　　：ぺたんチェック１０（一般細菌用）

培養時間　　：48 時間

培養温度　　：37℃

検証箇所　　：一般細菌用付着菌検査　10 箇所

【検査結果】

検査場所	No	施工前	施工後
ベッド柵	1	33	0
照明	2	5	0
棚扉部分	3	40	0
椅子座面	4	40	0
リモコン	5	※測定不能	0
ロールカーテン紐	6	※測定不能	0
トイレ扉取手	7	15	0
便座	8	10	0
トイレ水洗レバー	9	2	0
洗面レバー	10	5	0
一般細菌の検出数		150	**0**

色分け詳細 ☐…1～4 個以下 ☐…5 個以上　※コロニー数過多の為、測定不可能

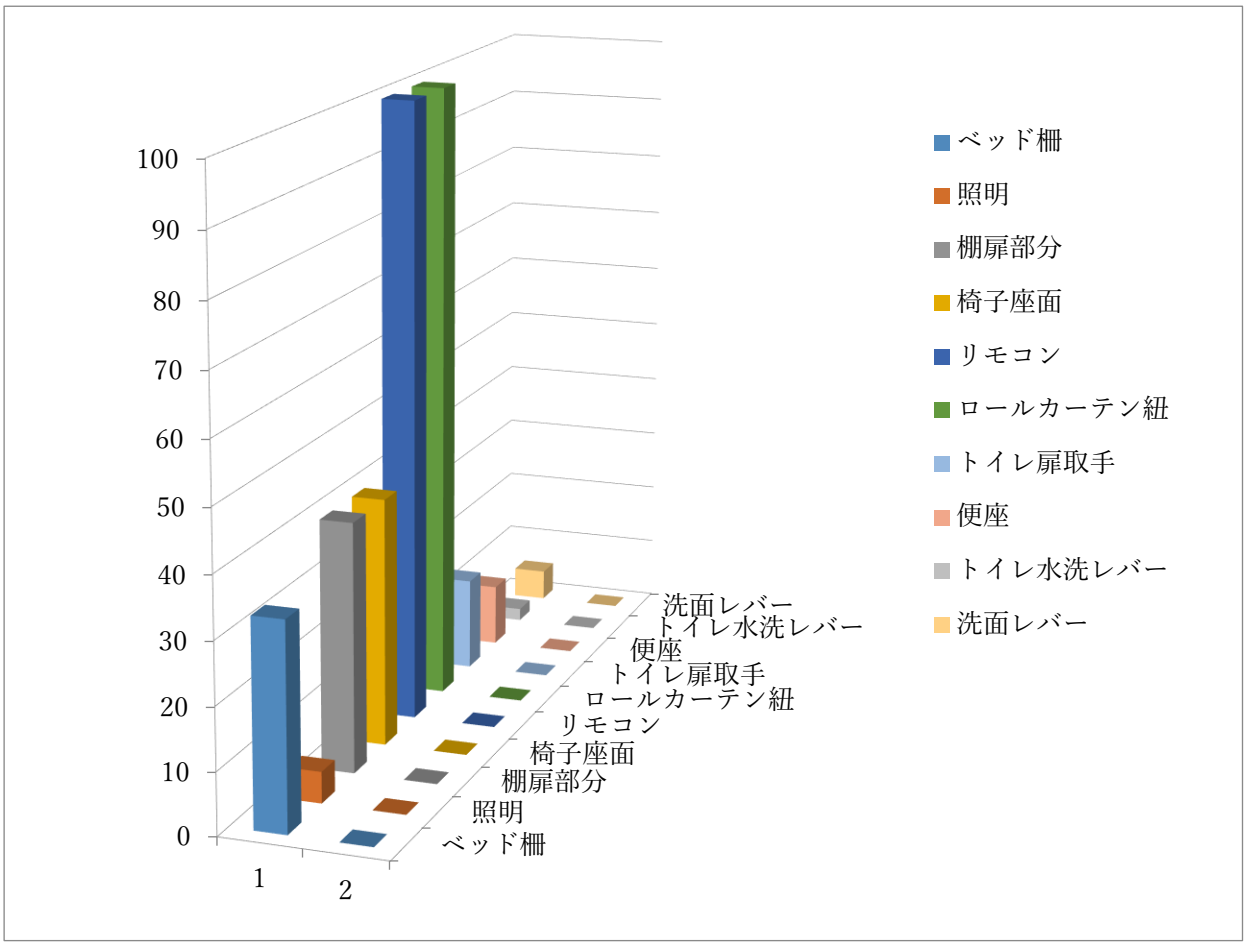
※培地の写真は別紙添付

【考察】

今回の検査により、№1～10 のすべての採取場所から、菌が検出されました。

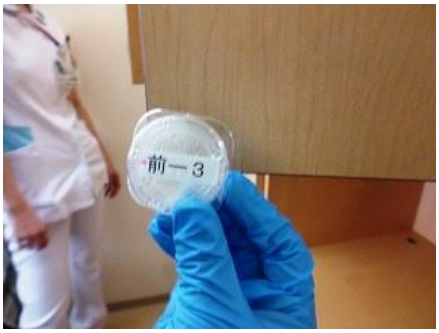
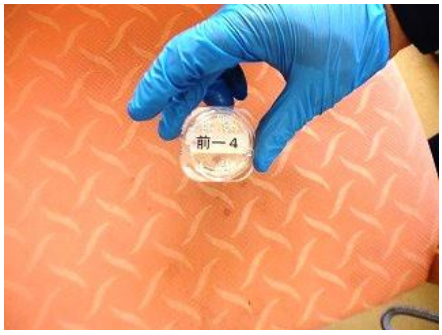
貴院における検査結果では、環境殺菌システムを実施することで、検査箇所の菌合計数　150 個から 0 個に削減したことが下図により実証されました。

弊社が推奨する環境表面殺菌システムを行うことにより、院内感染防止に有効であると言えます。

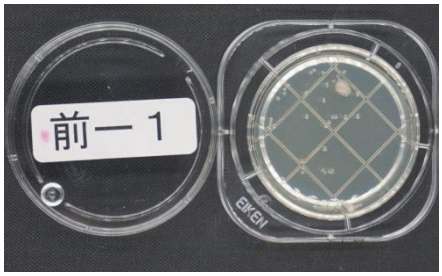
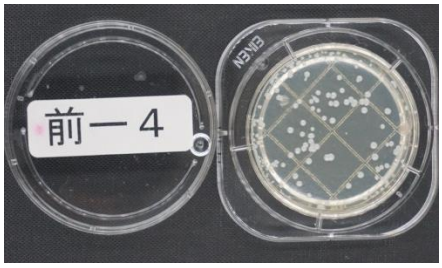
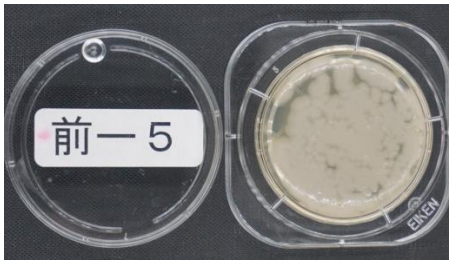
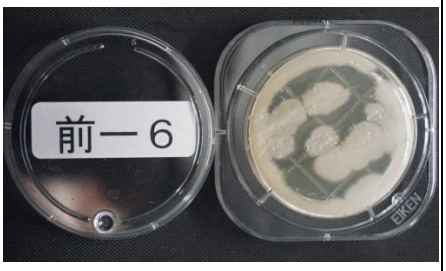
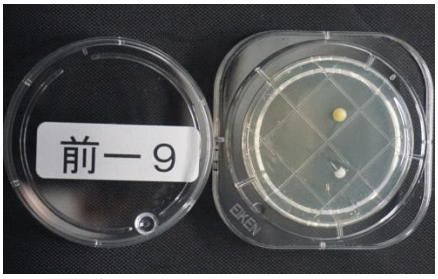


※殺菌前、殺菌後比較表

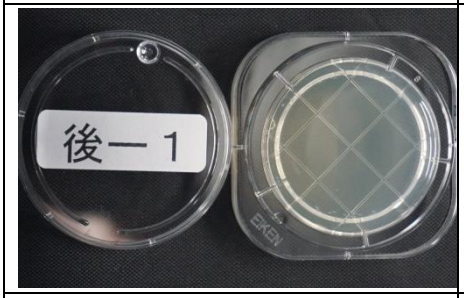
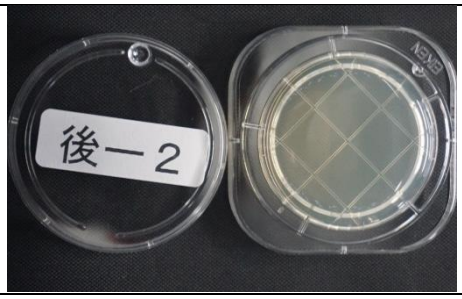
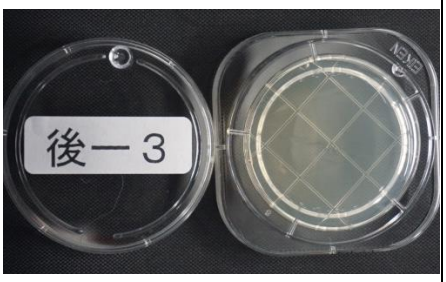
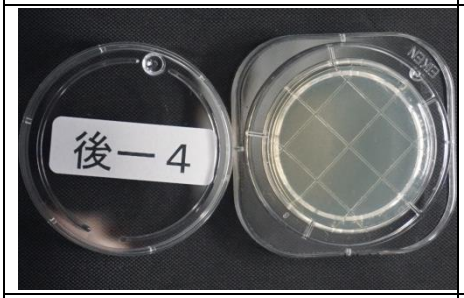
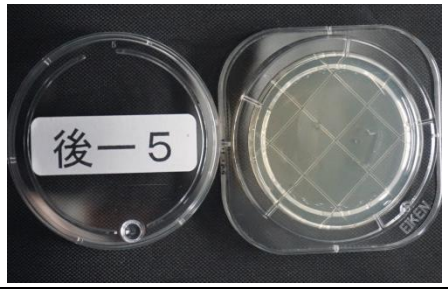
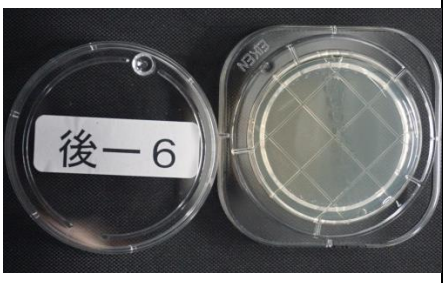
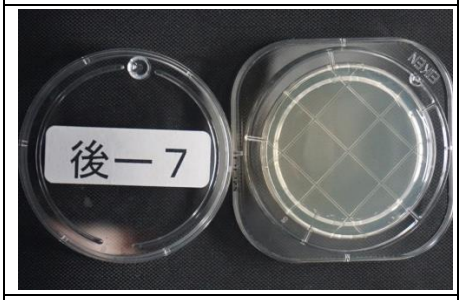
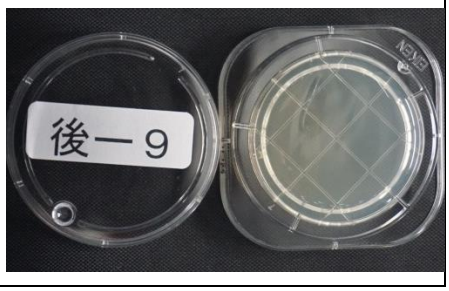
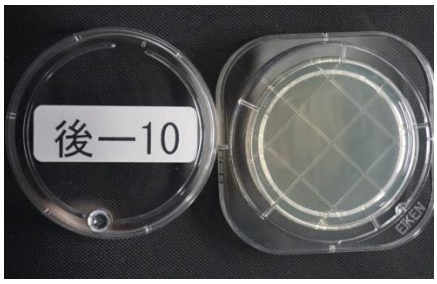
環境殺菌　採取場所

１、ベッド柵	２、照明	３、棚扉部分
		
４、椅子座面	５、リモコン	６、ロールカーテン紐
		
７、トイレ扉取手	８、便座	９、トイレ水洗レバー
１０、洗面レバー	インジケーター　施工前	インジケーター　施工後

環境殺菌 施工前

1、ベッド柵	2、照明	3、棚扉部分
		
4、椅子座面	5、リモコン	6、ロールカーテン紐
		
7、トイレ扉取手	8、便座	9、トイレ水洗レバー
		
１０、洗面レバー		

環境殺菌 施工後

1、ベッド柵	2、照明	3、棚扉部分
		
4、椅子座面	5、リモコン	6、ロールカーテン紐
		
7、トイレ扉取手	8、便座	9、トイレ水洗レバー
		
１０、洗面レバー